

arts as an industry / 芸術がニューヨーク市及びニューヨーク州にもたらす経済効果

ALLIANCE for THE ARTS

## ニューヨーク市

ニューヨーク市の芸術関連産業の密度と規模は、アメリカ国内でも他に類を見ず、また世界の都市の中でもトップの座を誇っています。ニューヨーク市は州の経済収入および税金の大半を計上するとともに州全体における芸術関連観光事業の中心地として機能しています。

## ニューヨーク市の芸術産業—2005年

|           |             |
|-----------|-------------|
| 経済効果      | 212 億ドル     |
| 雇用創出      | 160,300     |
| 賃金創出      | 82 億ドル      |
| ニューヨーク市税金 | 9 億 400 万ドル |

© Alliance for the Arts

経済効果は、芸術関連観光収益と 4 大芸術関連部門—商業映像および商業テレビ映像、舞台芸術、アートギャラリーおよびオークション会社、非営利文化団体による収益の総計です。非営利部門には、美術・博物館、動物園、植物園、および演劇、音楽、舞踊、映像を伴う非商業活動が含まれます。

## ニューヨーク市の芸術関連産業における部門別費用と経済効果—2005年

| 部門                     | 費用支出           | 経済効果           |
|------------------------|----------------|----------------|
| ・映画・TV用映像制作            | 38 億ドル         | 66 億ドル         |
| ・非営利文化                 | 29 億ドル         | 58 億ドル         |
| ・商業演劇                  | 9 億 6,800 万ドル  | 20 億ドル         |
| ・アートギャラリー・<br>オークション会社 | 6 億 5,900 万ドル  | 14 億ドル         |
| <b>部門の小計</b>           | <b>83 億ドル</b>  | <b>158 億ドル</b> |
| ・芸術関連観光客               | 37 億ドル         | 54 億ドル         |
| <b>合計</b>              | <b>120 億ドル</b> | <b>212 億ドル</b> |

© Alliance for the Arts

## ニューヨーク州

当調査から、芸術産業はニューヨーク州に多大な雇用、賃金、税収入をもたらしていることがわかります。商業芸術の大半がニューヨーク市に集中している一方で、州内の文化的活動面において、非営利の団体も経済の重要な役割を担っていることがわかります。

### ニューヨーク州の芸術産業—2005年

|      |         |
|------|---------|
| 経済効果 | 257億ドル  |
| 雇用創出 | 194,000 |
| 賃金創出 | 98億ドル   |

ニューヨーク州税収 12億ドル

© Alliance for the Arts

各主力芸術産業部門における経済効果は、下記に記す通り、直接投じた費用を基準にして算出しました。

### ニューヨーク州の芸術産業における部門別費用と経済効果—2005年

| 部門                     | 費用支出          | 経済効果          |
|------------------------|---------------|---------------|
| ・映画・TV用映像制作            | 44億ドル         | 84億ドル         |
| ・非営利文化                 | 35億ドル         | 77億ドル         |
| ・商業演劇                  | 9億9,800万ドル    | 22億ドル         |
| ・アートギャラリー・<br>オークション会社 | 6億8,500万ドル    | 16億ドル         |
| <b>部門の小計</b>           | <b>96億ドル</b>  | <b>199億ドル</b> |
| ・芸術関連観光客               | 34億ドル         | 58億ドル         |
| <b>合計</b>              | <b>130億ドル</b> | <b>257億ドル</b> |

© Alliance for the Arts

## 高崎市立美術3館 撮影状況

2018年9月

|             | 施設内撮影可否   | 記念撮影スポット   | 備考   |
|-------------|---|--|--|
| 高崎市美術館      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不可</li> <li>・ 撮影パネルあり</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> <li>・ 外観の看板か、付属する日本家屋（室内撮影可）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常設展示なし</li> <li>・ 企画展示のみ</li> </ul>                 |
| 高崎市タワー美術館   | 不可  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> <li>・ ビルを撮るか、入り口か</li> </ul>            |  |
| 高崎市山田かまち美術館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不可</li> <li>・ 入り口のタペストリーのみ可</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入り口（タペストリー）か、</li> <li>・ 外観の看板か</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画廊に併設されていた私設「山田かまち水彩デッサン美術館」を2014年、市営に移管</li> </ul> |

【記事のポイント】

|            |        |                         |   |
|------------|--------|-------------------------|---|
| 日経<br>5/25 | 富山県美術館 | 2017年開館<br>(前身は県立近代美術館) | <p>コンセプト：参加型，体験型<br/>「体全体でアートを感じてもらう」</p> <p>屋上のふわふわドーム（トランポリン）は，休館日も利用可</p> <p>本来の美術館＋αが必要</p> <p>「デザインあ展」展示に触れる，館内撮影可</p> <p>大型タッチパネルで，データベース化したポスターコレクションを鑑賞できる</p> <p>美術館がある富岩運河環水公園に251万5千人（2017年）</p> |
|------------|--------|-------------------------|---|

日経  
9/7 観光者数63%増

|            |                  |                      |   |
|------------|------------------|----------------------|---|
| 日経<br>7/21 | 障害者差別解消法 2016年施行 | 東京都美術館               | <p>特別鑑賞会を年4回</p> <p>盲導犬や車いすで，専門スタッフと回る</p> <p>車いすの人が，頻繁に見上げなくても手元で作品を鑑賞できるようにiPadを用意。</p> |
|            |                  | 京都国立近代美術館            | <p>美術家と障害者が対話しながら鑑賞。凹凸を使った説明「触図」を開発。</p> <p>「触図」は，こどもの美術鑑賞にも役立つ。</p>                      |
|            |                  | 兵庫県立美術館              | <p>手で触って彫像を鑑賞。</p>  |
|            |                  | 茅ヶ崎市美術館              | <p>障害者とアーティストらが協働で作品制作。感じとった香りから，音楽を作る。</p>   |
|            |                  | ・日野陽子准教授<br>(京都教育大学) | <p>「障害者には独自の感性があって，一緒に鑑賞することで新しい感覚を生み出すことができる」</p>  |

【ご参考】 アートによる地域活性化

第7回 「越後妻有トリエンナーレ」

8/31～9/1訪問 山下

- ・十日町市及び津南町全域に，2ヶ月弱にわたり378作品を展示。来客55万人。  
→開催期間以外でも見ることができる作品もある → 恒常的に観光客
  - ・地元の人でさえ行かないような山奥や里山地域にも展示がある  
→忘れられかけている文化財や廃校も利用
  - ・アーティストが作品を制作する際には，地域の人たちも参加 → お祭り感覚
  - ・海外アーティストも誘致 → 海外からの補助金 → 海外でも紹介され来日
  - ・食事や宿泊ができる作品（古民家，アート宿）や施設もあり，働く場にもなっている。
  - ・「来てよかった」「楽しかった」 → 地元民の生きがい，やりがい，生活の糧に
- 集落の温度差。ボランティアで作品を修繕してくれる地域やそうではない地域も。  
●海外からの人が増え，言葉や文化の違いに戸惑いも。